



日本海藻協会ニュース

2009年6月15日

・協会事務局から

1. 秋季藻類シンポジウム

2009年秋季藻類シンポジウムは10月9日(金)に学士会館(東京・神田)で開催の予定です。

2. 「海藻資源」の原稿募集

会誌「海藻資源」No.21(12月発行予定)の原稿を募集します。投稿期限は10月10日です。総説、報告、資料、書評などの原稿を、体裁等は最新号を参考にしてワード形式で作成し(左右2段組にしなくて結構です) e-mailの添付ファイルとしてお送りください。

・海藻関連ニュース

1. 「国際水産養殖技術展 2009」東京

(社)大日本水産会主催の「国際水産養殖技術展 2009」東京(International Aquaculture Technology Expo 2009, Tokyo)が7月22日(水)~24日(金)に東京国際展示場“東京ビッグサイト”東2・3ホール(東京・有明)で開催されます。この展示会は「ジャパン・インターナショナル・シーフードショウ」(Japan International Seafood & Technology Expo)の中で特設開催されるものです。

2. 第8回日本応用藻類学会春季シンポジウム

第8回日本応用藻類学会春季シンポジウムと総会が2009年6月27日(土)に東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)で開催されます。詳細はホームページ<http://jsap.web.fc2.com/index.htm>をご覧ください。

3. 第9回国際藻類学会議

第9回国際藻類学会議 (The 9th International Phycological Congress, IPC9) が2009年8月2 - 8日にオリンピック記念青少年総合センター(東京代々木)で開催されます。詳細は<http://www.ec-japan.jp/ipc9/index.html> をご覧ください。

4. 海の森づくり第3回こんぶサミット(日本海藻協会後援)

NPO海の森づくり推進協会主催の海の森づくり第3回こんぶサミット「豊かな海との共生をめざして:海の森づくり こんぶサミットin 壱岐・(青島)・函館・東京・青森・宇和島」(2009年4月~2010年3月)の詳細は、海の森づくり同協会横浜事務局(Fax: 045-922-3448, e-mail: shujiro.fujino@mbe.nifty.com)に問い合わせるか、ホームページ<http://www.kaichurinn.com> をご覧ください。

東京での開催は次の通りです。

9月26日(土) 東京海洋大学品川キャンパス

シンポジウム 「海との共生をめざした環境と食育と里村づくり」
(講演とパネル討論)

懇親会

9月27日(日) 東京海洋大学品川キャンパス

シンポジウム 「海との共生をめざした東京湾の環境修復と海の森づくり」
(講演とパネル討論)

懇親会

5. 第20回国際海藻シンポジウム(XX ISS)

国際海藻協会(International Seaweed Association, ISA)主催の第20回国際海藻シンポジウム(The XX International Seaweed Symposium, XX-ISS)が2010年2月21 - 26日にメキシコのエンセナダ(Ensenada, Baja California)で開催されます。会場は大学(UABC)近接の海に面したHotel Coral & Marina(ダウンタウンまでタクシーで約10分)です。登録期限と参加費は、早期登録(正参加者US\$435、学生US\$275、同伴者US\$250)が2009年10月30日まで、それ以後2010年1月22日までは正参加者US\$530、学生US\$375、同伴者US\$300、1月22日以後は正参加者US\$600、学生US\$450、同伴者US\$350です。参加費は登録期限までに送金してください(銀行送金のみ可)。参加費には、歓迎レセプション、Mid-Symposium Tour、バンケット、コーヒープレークなどの経費が含まれています。Proceedingsは別途US\$75が必要となります。Mid-Symposium Toursとして(1) Gray Whale Watching, (2) The Blowhole, (3) The Wine Route, (4) Seaweed Collection

and Abalone Farm Visit などが予定されています。ホテルは、ISS 参加者のための特別料金 (1泊 US\$55~173) が設定されていますが、参加者各自がホテルに直接申込み必要があります。

研究発表の**アブストラクト**送付の期限は**2009年9月30日**です。

詳細は <http://www.xxseaweedsymposium.org> でSecond Circularをご覧ください。

．カレンダー

2009.6.27. 第 8 回日本応用藻類学会春季シンポジウム (東京 東京海洋大学 品川キャンパス)

2009.7.22-24. 「国際水産養殖技術展 2009」東京 (東京国際展示場 “東京ビッグサイト” 東 2・3 ホール)

2009.8.2-8. 第 9 回国際藻類学会議 (東京 オリンピック記念青少年総合センター) [Nos.9 & 10]

2009.9.26-27. 海の森づくりシンポジウム (東京 東京海洋大学 品川キャンパス)

2009.10.9. 2009 年秋季藻類シンポジウム (東京 学士会館)

2010.2.21-26. 第 20 回国際海藻シンポジウム (メキシコ、エンセナダ)

．会員会社の新製品等の紹介

1. 新刊図書案内

高橋昭善・大森雄治 (著) 三浦半島海藻図鑑 海藻は海からの手紙 横須賀市自然・人文博物館 . B6 判・208 頁・頒布価格 800 円 (送料別).

．海藻 Q & A

Q18 - 「はんば」って何?

A - 褐藻 カヤモノリ目 カヤモノリ科 セイヨウハバノリ属 (*Petalonia*) に属するハバノリ (*Petalonia binghamiae*) のこと。かつてはハバノリ属 (*Endarachne*) に属し *Endarachne binghamiae* とされた。外洋に面する岩盤の潮間帯に生育する幅 2~3cm、長さ 8~13cm の葉状の海藻です。秋に芽生え、冬季中によく繁茂し、春に成熟して晩春に枯れて流失する。太平洋沿岸では宮城県金華山以南に、日本海沿岸では佐渡以南に、韓国南部・九州・琉球諸島の沿岸に分布する。産地では生鮮のまま味噌汁の実などにされるが、多くは粗製の抄製品 (乾燥品) として販売されている。乾燥品はちぎって味噌汁に入れたり、焼いて (あぶって) 酒のつまみにしたりする。国内全般に流通するほど一般化されていないが、太平洋側では千葉、神

奈川、伊豆諸島、伊豆半島などで、日本海側では鳥取、島根などで賞用されてきた。「はんば」というのはいわゆる方言（地方名）で、関東地方ではハンバあるいはハバモ、徳島県ではメンソ、鳥取県出雲地方ではカシカメ、鳥取県野津地方ではノツモバなどの呼び名で主に抄製品が扱われてきた。

これまでのQ & A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。（No.2 に掲載）
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。（No.2 に掲載）
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か（No.3 に掲載）
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか？（No.4 に掲載）
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか？（No.5 に掲載）
- Q8 - 「キラー海藻」って何？（No.6 に掲載）
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか？（No.6 に掲載）
- Q10 - 「髪菜（はっさい）」は海藻ですか？（No.7 に掲載）
- Q11 - 中国で栽培（養殖）されているノリは日本のノリと同じですか？（No.8 に掲載）
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？（No.9 に掲載）
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？（No.10 に掲載）
- Q14 - 「鰐浦こんぶ」はコンブですか？（No.11 に掲載）
- Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？（No.12 に掲載）
- Q16 - 「磯焼け」って何？（No.13 に掲載）
- Q17 - 「寒天」と「ところてん（心太）」はどう違うのですか？（No.14 に掲載）

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝（arugay@mx4.ttcn.ne.jp）